

..... 大会実施要領

1. 試合は1・2部の予選リーグ及び決勝トーナメント方式による7回戦とする。
.....(3位決定戦は行わない)
2. 今大会のシードチームは前大会の上位2チームとする。その他チームは抽選とする。
ただし2部春季大会は昇降格がある為 シードチームはなし。
3. コールドゲーム及び試合対応等について
 - ア) 得点差によるコールドゲームの成立は ① 3回終了以降10点差 ② 5回終了以降7点差を生じた場合
 - イ) 5回終了以降、降雨・日没等により競技続行が不可能と審判員が認めた時、得点差をもって決する。
 - ウ) 第1試合の開始時刻は午前8時30分とし、第一試合に出場するチームは午前7時45分までに球場に
来ていること。また2試合目以降に出場するチームは試合開始の1時間前迄に受付を済ませておく。
 - エ) 試合時間は7回戦にて1時間40分以内とする。
 - ① 但し試合が規定時間内に終了しないと判断した場合は試合を打ち切る事があるので
チーム責任者はこれに従うものとする。
 - ② 得点差が無い場合には『引き分け』とする。(勝ち点は0.5)
 - (a) 『引き分け』は予選リーグのみの対応とする。
 - (b) 予選リーグ第1戦の『引き分け』は抽選(代表者)により敗者が第2戦、勝者が第3戦とする。
 - (c) 決勝トーナメントの場合は、従前の特別ルール(一死満塁で打者四番)で試合継続する。
 - オ) 試合当日の選手の人数は9名以上とする。
尚 9人の場合は1人以上ベンチ補助員(15歳以上)置くこと。(いなくても棄権扱いとはしない)
※棄権防止のため打者(次打者含む)及び走者・ベースコーチはヘルメットを着用すること。
※ヘルメットは最低7個必要、捕手はレガース・プロテクター及びヘルメット等を着用すること。
※以上装備が十分でないチームは試合ができない。
※なお相手チームとの貸し借りは厳禁とする。
4. 予選リーグの順位決定(決勝トーナメント進出)は次による。
 - ア) 3チームのリーグ戦
 - ① 2勝したチーム
 - ② 3者が1勝1敗の同率のとき(a) 得失点差の多いチームを上位とする。
 - (b) (a)が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。
 - (c) なお同じ場合は当該チーム同士の勝敗による。
 - (d) なお同じ場合には3チーム代表者による抽選とする。
(三封筒に中の一つの『決勝進出』のカードによる)
 - イ) 2チームの対抗戦
 - ① 2勝したチーム
 - ② 1勝1敗の同率のとき
 - (a) 得失点差の多いチームを上位とする。
 - (b) (a)が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。
 - (c) なお同じ場合は9名による抽選(ジャンケン)で決する。
 - ③ 対抗戦グループが2つある時は第2戦は双方の勝者×敗者の襷掛けとする。

5. メンバー表は前の試合の4回終了時まで、連盟役員に提出すること。
6. 試合開始時間は大会日程表に示すとおりとし、組合せ番号の若いチームが1塁側とする。
先攻・後攻はジャンケンで決定する。
7. 監督・選手・マネジャー・スコアラー・補助員以外はベンチ内には入れない。
8. ファウルボールは攻守にかかわらずベンチ側のチームが拾う。
9. 使用球は公認球 『トップインターナショナル(またはケンコウ)M号』とする。
10. その他、これに定めない事項は本連盟規律規定並びに全日本軟式野球連盟規則を準用する。
11. 閉会式及び表彰式は 大会最終日の決勝戦終了後に閉会式及び表彰式を開催する。
参加は決勝戦進出チームのみで行う。
尚、3位チームは本部席での表彰等授与（詳細は別途通知する）

運動公園での注意事項

- 1 東村山運動公園内は、すべての場所で喫煙禁止となっています。
- 2 東村山市ではゴミ有料化が実施され、球場でのゴミは一切捨てられません。
 - ア) 各チームの責任者は、選手及び応援者に十分周知し、チームの責任者において持ち帰ること。
 - イ) 試合終了後も、ベンチ及びその周辺を清潔にして、すべて持ち帰ること。
 - ウ) 第1試合のチームは試合の準備を、また最後のチームは器具等のかたづけを手伝うこと。
- 3 駐車については定められた駐車場を利用し、試合終了後は速やかに立ち去ること。
- 4 大会期間中、各チームの応援者等に事故・怪我等があっても連盟ではその責を負わない。
- 5 球場内では、連盟責任者の指示に従うこと。